

基本計画【各論】(素案)に対する部会意見及びその対応
 <第1部会(9/9、10)、第2部会(9/4、7)開催分>

「反映」 ←意見を反映する場合
 「一部反映」 ←意見の一部を反映する場合
 「原案どおり」 ←意見を反映しない場合
 「その他」 ←質問や今後の取組の参考とした意見

資料3

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
1	全般	○感染症に関連した記載がある施策分野があるが、各施策分野の中で記載するのか、基本計画の頭の部分で記載するのか、議論した方が良いと思う。	その他	感染症に関連した内容は、基本計画【総論】のほか、感染症による影響が特に大きいと考える施策分野(基本計画【各論】)で記載していますが、記載方法等については、改めて全体会でご意見をいただきたいと考えています。
2	全般	○分野別計画について、指針やビジョン、プラン、計画など様々な名称があるが、それぞれの名称の使い分けに関する基準はあるのか。また、第6次総合計画は大きな方向性を示すものとして整理しているが、分野別計画がない場合は何に基づいて取組が進んでいくのか。「開かれた市政」には関連する主な分野別計画がない。 ○指針、計画などがどのようなものか統一的に説明できるよう、この10年間で整理してもらいたい。 ○まちづくり基本条例で全ての分野で分野別計画を作るとしているが、きちんと取り組めていないように思う。分野別マスタープランがまちづくり基本条例でいう分野別計画かどうか整理するとともに、分野別計画がない場合は今後10年間で作る努力をしてほしい。	その他	今後の取組の参考意見とさせていただきます。 なお、「開かれた市政」に関連する分野別計画については、早期策定に向け検討を進めます。
3	その他	○資料4で「市民憲章」は総合計画の上位に位置付けられるものとなるが、総合計画の上位にあるものは、まちづくり基本条例である。市民憲章が上位というのは適当ではないのではないか。 ○「市民憲章」は、より普遍的、長期的な将来像という位置づけに対して、「総合計画」は10年ごとの将来像という位置づけなのかもしれない。言葉遣いを修正するだけでも理解は進むのではないかと。	その他	別添「保留にしていた審議事項」のとおり整理しています。本件については、全体会にて改めてご意見をいただきたいと考えています。
4	1-1 市民自治・協働	○施策(2)、「○」1つ目に「コミュニティビジネス」という言葉があるが、市民活動というソーシャルビジネスのイメージもする。「等」又は「ソーシャルビジネス」という言葉を入れた方が良いのではないかと。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 施策(2)、「○」1つ目 ○様々な分野における市民活動の充実に向け、コミュニティビジネスの育成や支援に取り組みます。 施策(2)、「○」1つ目、ねらいや主な取組 …コミュニティビジネスを育成及び支援… ↓ 【修正後】 施策(2)、「○」1つ目 ○様々な分野における市民活動の充実に向け、コミュニティビジネス等の育成や支援に取り組みます。 施策(2)、「○」1つ目、ねらいや主な取組 …コミュニティビジネスやソーシャルビジネスを育成及び支援…
5	1-3 開かれた市政	○施策(3)「まちの魅力を効果的な発信」の成果指標として、ふるさと納税の額や市ホームページのアクセス数が挙げられているが、より施策を的確に測る指標はないか。 ○例えば、茨木市では市民がまちの情報発信をする際に、同じハッシュタグをつけて発信してもらうことで、市役所と市民がともに情報発信をしている。インスタグラムやTwitterなどでのハッシュタグ数などを指標とするのも1つかと思う。 ○庁内の各課でSNSを活用し情報発信をされているが、全体的な整理ができていないのではないかと。 ○更新が全くされないと誰も見なくなる。庁内のSNSの取組状況を総合的に捉え、どれだけ発信したかを指標にしても良いのではないかと。 ○市民とともに情報発信をしていくプラットフォームを市が作り、みんなで情報発信、交流できる仕組みを施策に書き込んでいただくと良いと思う。また、それと連動した成果指標ができれば良い。	反映	ご意見を踏まえ、「ふるさと納税の額」については、広く発信できていることを測るのにより適した指標とするため、「ふるさと納税の件数」に修正します。また、まちの情報や魅力の発信による成果を測る指標として、市民アンケートの「宝塚市に愛着を感じている」と回答した市民の割合を追加します。 【修正前】 ふるさと納税の額 めざす方向性「↑」 現状値「189,543千円」 ↓ 【修正後】 ふるさと納税の件数 めざす方向性「↑」 現状値「4,707件」 【成果指標の追加】 「宝塚市に愛着を感じている」と回答した市民の割合 めざす方向性「↑」 現状値「—(新規)」
6	1-4 情報化	○情報化やデジタル化が進むことと、施策(1)の成果指標で示しているマイナンバーカードの取得率はどうか関係するのか。マイナンバーカードが普及しないと、デジタル化が進まないイメージになってしまう。 ○ペーパーレス化ができる申請書類の数を増やすといった指標の方がふさわしいのではないかと。 ○マイナンバーカードの取得率が低いからサービスが拡大しないのではなく、サービスが拡大しないからマイナンバーカードが普及しない。マイナンバーカードを利用した行政サービスを充実させるのがポイントではないかと。	反映	○本人確認を厳格に行う申請手続きをオンライン化するには、マイナンバーカードに搭載されている公的個人認証を利用する必要があり、マイナンバーカードの普及(取得率)はオンライン化を推進する上で必須であると考えています。 ○ご指摘の通り、申請手続きのオンライン化率(オンライン化した手続きの数/オンライン化可能な行政手続き数)(めざす方向性を「↑」、現状値を「—(新規)」)を指標に追加します。 ○行政手続きのオンライン化にはシステム化の費用がかかるため、マイナンバーカード(公的個人認証)の普及が進み、ある程度の利用が見込まれないと、自治体独自でシステム化することは難しいと考えています。国は令和3年3月から同カードの健康保険証としての利用を予定しており、さらに運転免許証としての利用や預貯金口座との紐づけも検討されており、同カードの普及が進むことで、自治体でも同カードを使ったサービスが充実していくものと考えています。 なお、同カードの普及が進まない原因として、利用できる行政サービスが少ないことに加え、国が情報を管理することへの抵抗感や情報漏洩への懸念などがあるとされています。マイナンバー制度では、全てのデータを国が一元的に管理するのではなく、各行政機関が分散して保有する仕組みであり、不正な利用がないように第三者機関「個人情報保護委員会」が監視・監督しています。また同カードのICチップには税や年金などの個人情報も記録されていないこと、オンライン利用にはマイナンバーは使わないこと、不正な情報を読み出そうとするとICチップが壊れる仕組みになっていることなどの情報漏洩対策を施しています。また、本人の情報がいつ、どの行政機関で、何の目的で利用されたのかについて記録され、同カードを保有している方であれば、インターネットを通じて専用webサイト(マイナポータル)からいつでもこの記録を照会し確認することができます。このような安全対策により、安心してご利用いただける仕組みとなっています。
7	1-5 行財政運営	○今後、全ての市の施策や説明の中で、「運営」から「経営」という言葉に統一するのであれば良いが、今後も言葉が混在するようではなぜ違うかといった疑問が続いてしまう。 ○行政経営の1つの重要な柱として、財政運営があるという考え方をとれば、ここは「行政経営」の方が良いのではないかと。	一部反映	・行財政運営については行財政経営に統一します。「行政経営」とすると「都市経営」とイコールのように見えてしまうので「行財政経営」としています。 ・「情報化」のめざすまちの姿と施策(2)の「行政運営」は「行政事務」に修正します。
8	1-5 行財政運営	○これからは、色んな人々と協働していく必要がある。デジタル化や民間との連携がますます必要となり、協働が非常に大きな柱になる。施策(2)の記載で、全職員がそのあたりのことを共有できれば良いが、もう少し方向性や必要性を示す言葉を入れた方が良いのではないかと。	原案どおり	今回の総合計画では都市経営の最初の項目で市民自治・協働が掲げられており、協働の取組の重要性は十分に認識しています。職員の育成については、少子・高齢化の進行、高度情報化社会の進展、協働の取組の広がりなど、取り巻く状況の変化に対応していくための研修を毎年実施しており、また組織体制の整備についても、毎年必要な人員をヒアリングする中で、定員の適正化や組織の整備に努めています。今回、施策の記載は現状どおりとさせていただきますが、ご意見の趣旨を踏まえながら、引き続き、職員の研修・育成や組織の整備に取り組んでまいります。

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
9	1-5 行財政運営 成果指標	○施策(2)の成果指標で、男性職員の育児休業取得率が挙げられている。LGBTの観点も含んだ見せ方にするのであれば、性別にかかわらずのような表現にしてはどうか。 ○男性職員が取得しなければいけないことを強調しているのだと思う。 ○このままでも致し方ないと思うが、再度検討をお願いする。	原案どおり	女性職員の育児休業取得率は100%となっており、現状を把握し、今後の方向性に対して指標として明確に数値を捉えていくために男性職員の育児休業取得率としました。今回、指標名は現状どおりとさせていただきますが、ご意見の趣旨は十分に踏まえ、制度を運用していきます。
10	2-1 危機管理・防災・消防 施策	○施策(2)、自助・共助の体制づくりとあるが、市民と行政も互いに支援し、連携しながら取り組むということでは、公助ということも必要ではないか。協働の取組が表現されていない。 ○論調が、公的責任が果たせないから自助・共助という流れになっており、市民に全部を押し付けているかのような表現になっているので、気を付けた方が良いと思う。	その他	自助、共助に期待される役割が重要であることには変わりはありませんが、意図を分かりやすくするため、資料『「施策の方向性」のねらいや主な取組』に記載する表現を修正します。 【修正前】 大規模災害時や新たな感染症の蔓延時における公助の限界が露呈するなか、自助、共助の果たす役割が重要になっていることを踏まえ、市民の取組を引き続き支援します。 ↓ 【修正後】 大規模災害時や新たな感染症の蔓延時には、自助、共助の果たす役割に加え、公助との連携も一層重要になることから、引き続き平時からの地域の取組を支援します。
11	2-1 危機管理・防災・消防 施策	○施策(3)、消防団を中核とした地域消防体制の充実を図るとの記載があるが、最近では消防団ではないが、自主防災組織という形の中で地域防災を充実させているので、自主防災組織もここで、明記した方が良いのではないかと。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 施策(2)、「〇」4つ目 消防団を中核とした地域消防体制の充実を図ります 施策(2)、「〇」4つ目、ねらいや主な取組 消防団を中核とした地域防災力の充実と、地域防災の担い手である自主防災組織の活性化を図ります。 ↓ 【修正後】 施策(2)、「〇」4つ目 消防団と自主防災組織を中心に、地域の消防防災体制の充実を図ります 施策(2)、「〇」4つ目、ねらいや主な取組 消防団を中核とした地域防災力の充実と、地域防災の担い手である自主防災組織などの活性化を図ります。
12	2-3 消費生活	○認知症の高齢者が増えてきており、様々な消費者被害が出ているが、そのあたりは、この施策分野で取り上げるのか。 ○関係機関、団体、事業者等との連携にあたっては、しっかり協議しながら進めていただきたい。 ○社協でも実際に取り組んでいる。金融機関もATMIに職員を配置するなど、危機感を持ちつつ、努力されているので、そのあたりも踏まえて分野別計画の策定を進めてもらう方が良いと思う。	その他	幼児期から高齢者までを対象とした消費者教育を進めるため、地域での人材育成が必要であり、そのことは先般、お答えしたとおり次期計画のなかでも明記する予定で、いただきましたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。 なお、現在の消費者教育推進計画の推進には、関係機関(社会福祉協議会、警察、民生委員・児童委員連合会、商工会議所など)に参画いただき、消費者教育を共に進めているところです。次期消費者教育推進計画における「施策」は現計画を引き継ぐ予定であり、今後も関係機関と連携し、消費者教育を総合的に進めていきます。
13	2-4 土地利用 現状と課題	○現状と課題(1)、「ストック」が何を指しているか分かりにくい。	反映	意見を踏まえ、基本構想の「将来都市構造の基本的な考え方」での表現とも整合を図りつつ下記のとおりに修正します。 【修正前】 多様なストックなど、… ↓ 【修正後】 多様な社会資本など、…
14	2-4 土地利用 施策	○施策(3)、「地域と連動したまちづくり」とあるが、「地域と連携したまちづくり」ではないか。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 地域と連動したまちづくり ↓ 【修正後】 地域と連携したまちづくり
15	2-4 土地利用 成果指標	○施策(1)、成果指標「地区まちづくりルールの認定地区数」のめざす方向性が「→(維持)」になっているが、「↑(増加)」にしてはどうか。 ○策定してから年数が経ち、ルールを外したいという意見があるのは確かである。 ○スタートはこれでいき、5年後に見直すというのも1つの方法と思う。 ○人口構造も変化してきているため、地区まちづくりルールの理解の促進など前向きな指標に変更できないか検討いただきたい。	原案どおり	今回は指標の変更は行いませんが、社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを検討します。
16	2-6 道路・交通 施策	○施策(2)、「〇」3つ目、コロナの影響で、住宅地に人がいる時間が増え、近くで買い物に行けるなどの需要が伸びてきているのではないかと。バスターミナルなど交通結節点の周りに生活拠点をつくるというような話が出てきてもおかしくない。 ○山手の住宅地などに生活拠点のようなものができるよう勾配住宅地帯の生活も豊かになると思うので、どこかで入れていただければと思う。	原案どおり	○道路・交通の分野では、「コンパクトなまちづくりに向けて」と表現しており、委員ご指摘のまちづくりの趣旨を含んでいると考えています。 ○山手住宅地の生活拠点については、施策分野「土地利用」の中で「良好な住環境の維持・形成を図ります」と記載しています。
17	3-1 健康・医療 現状と課題	○現状と課題(1)、「また、感染症については、県の要望に基づき…」とあるが、事業継続や市民の健康を守るため、県の要請に基づくだけでなく、市独自で考えていくことも必要と思うので、記述について検討いただきたい。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 県の要請に基づき、関係機関と連携協力し対応する必要があります。 ↓ 【修正後】 県や関係機関と連携し、感染予防の啓発等に取り組む必要があります。
18	3-1 健康・医療 現状と課題	○現状と課題(2)、「子育て世代包括支援センター」について注釈を入れていただきたい。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 注釈なし ↓ 【修正後】 注釈に以下のとおり記載する。 妊娠、出産、育児の相談窓口で、保健師等の専門職が妊産婦や乳幼児の状況を把握して支援や関係機関との連絡調整を行い、切れ目ない支援につなげる機能を持つ。平成28年(2016年)4月に市立健康センターに開設した。

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
19	3-1 健康・医療 施策	○施策(1)、「○」1つ目、「啓発や予防接種、食育の推進により、疾病予防や健康づくりを推進します」とあるが、短い文の中で様々なことが書かれており、曖昧な表現となっている印象を受けるので、表現について検討いただきたい。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 啓発や予防接種、食育の推進により、疾病予防や健康づくりを推進します。 ↓ 【修正後】 生活習慣改善や感染症に関する啓発等により、疾病予防や健康づくりを推進します
20	3-1 健康・医療 施策	○施策(2)の「母子保健事業」について、母子という母と子ということになるが、母親以外のサポートもあると思う。このままの表現で良いのか。 ○「○」1つ目「妊産婦・子どもへの切れ目ない支援」となっているので、せめてここの表現の部分で追加ができないか。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○妊産婦・子どもへの切れ目ない支援に取り組みます。 ↓ 【修正後】 ○妊産婦や子ども、家庭への切れ目ない支援に取り組みます。
21	3-2 地域福祉	○まちづくり協議会が活発なところは福祉活動も活発になる傾向がある。逆に福祉活動が活発になるとまちづくり協議会も活発になっていくということもあるので、まちづくり協議会の福祉活動の支援ということを強調してもらいたい。	原案どおり	本総合計画の後編に各地域ごとのまちづくり計画が盛り込まれており、また、各地域の資源を生かしたまちづくりは、地域福祉の主旨そのものであると認識しており、総合計画における文面としては原案のとおりとします。ご意見については、現在策定中の分野別計画である「地域福祉計画」において強調して掲げます。
22	3-2 地域福祉	○「多文化・共生型の地域づくり」に向け、市に通訳ができる人を配置しておく必要があると思う。 ○「多文化・共生型の地域づくり」を進めるためには、地域福祉の分野だけではなく、様々な分野で取組を進める必要があり、そこに地域をどう巻き込むかを考えていただきたい。	一部反映	文中「多文化・共生*型の地域づくり」から「多文化・共生型の地域づくり*」とし、欄外注釈を、厚生労働省が掲げる「地域共生社会」の解釈の文言に改めます。また、いただいたご意見は、今後進めていく総合計画や、分野別計画である「地域福祉計画」における運用上の課題と認識し、参考としていきます。
23	3-2 地域福祉 成果指標	○施策(1)の成果指標に「つか塾累計受講者数」が入っているが、地域福祉を担う人材が高齢者でなければならないように受け取ってしまう。	反映	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 高齢者学習事業つか塾(地域活動)累計受講者数 めざす方向性「↑」 現状値「424人」 ↓ 【修正後】 住民向け地域福祉講座の参加者数 めざす方向性「↑」 現状値「(新規)」
24	3-3 高齢者福祉	○地域ごとの健康寿命を知りたいと思ったが調べることができなかった。出せないものか。	その他	健康寿命は、兵庫県では平成22年から5年ごとに県下市町別に算定されています。平成24年9月に公表された「健康寿命の算定方法の指針」によると、「対象集団の人口の目安として13万人以上またはそれ以上が望ましい」とされていることや、「人口が1.2万人未満の対象集団では、3年間の死亡数を利用して健康寿命の精度が十分とはいえない。そのような対象集団において、健康寿命を算定することは適さない。」とされていることから、地域ごとの健康寿命は算定していません。
25	3-3 高齢者福祉 現状と課題	○現状と課題(1)、健康寿命が延びると社会保障費が抑えられるとは証明されていない。長生きして良い人生を送るために健康寿命を伸ばしましょうというなら分かるが、社会保障費が増大するから健康づくりしましょうというのは健全な言い方ではない。	反映	文言について、社会保障費の増大を課題に掲げるのではなく、文言を「高齢者人口の増加にあるなか、要介護・要支援認定者数、比率ともに増加の一途を辿っています。高齢者の元気で自立した生活の実現に向けて、高齢者の社会参加の啓発を含め、介護予防に取り組むことで、健康寿命*を延ばし、介護が必要になる時期を遅らせる必要があります。」に修正します。あわせて(2)文中の「元気で自立しているときも、」を削除します。
26	3-3 高齢者福祉 施策	○施策(1)、「○」1つ目の「健康長寿年齢」は「健康寿命」としてはどうか。	反映	ご指摘のとおり、「健康長寿年齢」は「健康寿命」とします。
27	3-3 高齢者福祉 施策	○施策(2)、「認知症施策を推進します」とすると総合的なものとなるため、「住民の認知症への理解を推進する」といった表現の方がより具体的で分かりやすいと思う。	反映	ご指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○認知症施策を推進します ↓ ○認知症についての啓発や、支援体制の整備に取り組みます
28	3-3 高齢者福祉 施策 成果指標	○施策(2)の成果指標がアンケートの項目ばかりなので、認知症サポーターの数や啓発活動にかかる講座の受講者数など、実数が出る指標があっても良いのではないかと。 ○認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、小規模多機能型居宅介護の密度を増やす、一般店舗がユニバーサル店舗となり認知症理解のある店員数を増やすなど、様々な施策が総合的に組み合わせられないと達成できない。そこも踏まえて検討いただきたい。	一部反映	施策の方向性について、「認知症施策を推進します」を「認知症についての啓発や、支援体制の整備に取り組みます」に見直し、その成果指標については、原案のとおりとします。また、ご指摘の認知症サポーターや、啓発状況を表す数値などは経過観察指標として扱い、運用の中で生かしてまいります。併せて、支援体制の整備に向けて、市内事業者の協力を啓発することは重要なことであり、事務事業、施策の展開上必要な事項として運用上生かしてまいります。
29	3-3 高齢者福祉 成果指標	○施策(2)、体制づくりの進捗が図れる成果指標を盛り込んだ方が良いのではないかと。	その他	体制づくりの評価は、人員や、施設整備数などで評価する方法もありますが、必ずしも「数量」が成果とならない場合があります。特に福祉といった人的サービスにおいては、その質が問われます。従って、成果を測る指標として、住民アンケートによる満足度が成果指標になると考えます。一方で、ご意見につきましては、運用上または施策進展の説明上必要な経過観察指標として、運用上において検討して施策を推進します。
30	3-4 障害(がい)者福祉 現状と課題	○現状と課題(4)、「工賃向上のための共同受注窓口」について注釈が必要ではないか。	一部反映	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 障害(がい)のある人の工賃向上のための共同受注窓口への補助事業や就労相談窓口の強化 ↓ 【修正後】 障害(がい)のある人の就労相談窓口の体制強化、福祉的就労施設等の利用者の工賃向上を目的とした就労施設等が共同で物品や役務を受注するための共同受注窓口への運営支援、

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
31	3-4 障害(がい)者福祉 施策	○施策(4)、「○」3つ目、シンシアは宝塚のシンボルだと思う。施策(1)に記載した方が良いのではないか。	反映	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 施策(4)3つ目 【修正前】「シンシアのまち宝塚」に向けたハード・ソフト両面での取組を推進します。 ↓ 【修正後】ハード・ソフト両面での生活環境の整備に取り組みます。 めざすまちの姿 【修正前】障害(がい)のある人が地域で自分らしく暮らしていくため… ↓ 【修正後】「シンシアのまち宝塚」に向け、障害(がい)のある人が地域で自分らしく暮らしていくため… 注釈 【修正前】市内在住の木村佳友氏のパートナーであった介助犬シンシアにちなみ、介助犬の法的認知や、心と環境と制度のバリアフリーの推進のため、平成11年(1999年)5月、本市が宣言したもので、毎日新聞社が行った介助犬キャンペーンとともに、平成14年(2002年)10月の身体障害者補助犬法の施行につながった。 ↓ 【修正後】介助犬の啓発や法的認知を求める一環として、平成11年(1999年)5月に本市が宣言したもので、平成14年(2002年)10月の身体障害者補助犬法の施行に大きな役割を果たした。介助犬シンシアは市内在住の木村佳友氏のパートナーであり、毎日新聞社が行った介助犬の法的認知を訴えるキャンペーンにより存在が広く知られるようになった。これらのことから、心と環境と制度のバリアフリー化を進め、人にやさしいまちづくりを実現していくことを象徴して「シンシアのまち宝塚」とした。
32	3-4 障害(がい)者福祉 成果指標	○施策(1)で地域生活支援拠点の整備状況も成果指標として挙げた方が良いのではないか。	原案どおり	地域生活支援拠点の整備については、令和3年度に1箇所設置する予定で目標を達成することから指標としてはなじまないと考えため原案どおりとします。
33	3-4 障害(がい)者福祉 成果指標	○施策(2)の成果指標に「成年後見制度の認知率」とあるが、市民後見人の数などの方が良いのではないか。	原案どおり	成年後見制度が十分に活用されるためには、認知度の向上は重要と考え原案どおりとします。
34	3-5 社会保障 現状と課題	○めざすまちの姿で「若い世代をはじめ」という表現とした意図は何か。 ○今までの感覚からだと若い世代に社会保障が必要なかと思ってしまう。考えが伝わるように、現状と課題等で予防的という言葉が出てきて良いのではないか。	原案どおり	○若者の貧困に対する予防的社会保障を含め、全世代が対象であるという考えから「若い世代」としています。 ○社会保障は全世代が対象であることを表すため、現状と課題において「ニート・ひきこもりなどの問題が深刻化している」という内容を入れていきますので原案どおりとします。
35	3-5 社会保障 施策	○施策(1)、「○」2つ目、「自立支援を行います」という表現に唐突感がある。 ○「自立支援」という概念が広く、人と関係を持ちながら自己実現を行うことが福祉の自立概念である。就労について言及するならば、就労支援を行うと記載した方が良いのではないか。	反映	意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○個別の状況に応じた自立支援を行います。 ↓ 【修正後】 ○個別の状況に応じた支援プランをもとに自立に向けた支援を行います。
36	4-1 児童福祉・青少年育成 現状と課題	○現状と課題(1)、「切れ目ない」とあるのは、「切れ目のない」とした方が良いのではないか。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 切れ目ない相談支援体制が求められています。 ↓ 【修正後】 切れ目のない相談支援体制が求められています。
37	4-1 児童福祉・青少年育成 現状と課題	○現状と課題(3)、「情報通信機器などからもたらされる有害環境」とあるが、情報通信機器のハードから有害なものももたらされるという表現となっている。有害をもたらすのはコンテンツだと思うので、表現を検討していただきたい。	一部反映	現状と課題(3)に「情報通信機器などからもたらされる有害環境」は機器そのもの自体が有害であるとの誤解を招く恐れがあるため、下記のとおり表現を修正します。 【修正前】 有害図書や情報通信機器などからもたらされる有害環境 ↓ 【修正後】 有害図書やインターネットなどからもたらされる有害環境
38	4-1 児童福祉・青少年育成 施策 成果指標	○施策(1)、「○」4つ目、子どもの貧困対策は教育・生活・就労への支援だけでは対応できない。地域による貧困対策についても記述してはどうか。 ○就労は親への支援、教育は子どもへの支援であり、対象が混在しているので整理が必要ではないか。 ○子どもの貧困対策にかかる成果指標について検討いただきたい。 ○地域と専門職、行政との連携が十分ではない中、その対応について明記した方が良いのではないか。要保護児童対策にも関わることである。 ○貧困の連鎖を防止するという表現の方が良いのではないか。 ○子どもの貧困は親の所得と絡んでいる。就労と教育保障は公的責任の問題であり、地域がすべて解決できるわけではないので、切り分けて記載いただきたい。 ○非常に大切な内容なので、行数が増えても内容に漏れがないよう文章を検討いただきたい。	一部反映	施策(1)に「子どもの貧困対策」については、市としてもこの対策は重点項目であることは認識しています。いただいたご意見にある、地域における支援も大変重要であること、貧困の連鎖を防止する観点が必要であることなども踏まえ、施策(1)「○」4つ目について下記のとおり修正します。 【修正前】 ○教育、生活、就労への支援により、子どもの貧困対策に取り組みます。 ↓ 【修正後】 ○子どもの貧困の連鎖を防止するため、教育、生活、就労などにおいて地域との連携を含め、子どもや家庭への支援に取り組みます。 なお、子どもの貧困対策については、現在ひとり親の学習支援事業を行うなど順次開始していますが、各分野における個別施策で対策を行っていくことで貧困の防止につながるものと考えていますので、ここでの成果指標の設定は困難と考えています。
39	4-1 児童福祉・青少年育成 成果指標	○施策(1)の成果指標について、アンケートではなく、体制づくりに関する成果指標を挙げられないか。	原案どおり	基本計画は次世代育成支援行動計画の方向性との関連が強く、アンケート結果での傾向が一定の指標となっていること、体制づくりに関する基礎数値がないことにより、原案のとおりとします。
40	4-2 学校教育 現状と課題	○現状と課題(2)に小一プロブレムや中一ギャップ、また、社会を生きていく力の育成との記載があるが、子どもに関する問題なので、現状と課題(1)に入れた方が良いのではないか。	原案どおり	小一プロブレムや中一ギャップに対応するためには、保幼小中の各学校の連携が欠かせないことから、学校組織の課題として(2)に記載しており、原案のとおりとします。
41	4-2 学校教育 現状と課題	○現状と課題(3)について、核家族化等による家庭の教育力の低下、ひとり親家庭の増加に伴う子どもの貧困となっているが、原因と結果の関係になっていることに疑問がある。表現について検討いただきたい。	反映	ご意見を踏まえ、「(3)地域とのつながりの希薄化や核家族化の進行、ひとり親家庭の増加等により学びの機会の減少や家庭の教育力の低下、子どもの貧困問題などが指摘されており、学校、家庭、地域との一層の連携、協働体制づくりを進めていく必要があります。」と改めます。
42	4-2 学校教育 施策	○施策(1)、「～子どもを育てます」という表現が複数あるが、具体的に書く必要があるのではないか。	原案どおり	学校教育の分野の取組は網羅的になるため、現在の書き振りにしています。なお、総合計画では、大きな方向性を示しつつ、分野別計画においては、具体について表記していきます。

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
43	4-2 学校教育 成果指標	○施策(1)、新規不登校児童生徒出現率の減少を成果指標とするのはいかがか。学校に行けなくても、子ども同士の場づくりが進んでいるなどが指標となるのではないかと思う。	原案どおり	不登校になってもどこかに居場所があるということは、子どもの成長において非常に大切なことであると認識しています。それと同時に学校教育の場においては、不登校を生まないような環境づくりや風土づくりを目指すことも大切であると考えており、「子どもの生きる力の育成」という施策を総合的に推進したことの成果を図る指標として、原案どおりとします。
44	4-2 学校教育 成果指標	○施策(1)に「ICT機器を利用した授業を分かりやすいと評価した児童・生徒の割合」の成果指標があるが、どちらかと言えば施策(2)に関連する指標ではないか。	一部反映	施策(1)にこの成果指標の指標名をあげたのは、児童生徒が授業の中で主体的にICT機器を利用することで分かりやすく学べている割合を示そうとしたものであるため、全国学力・学習状況調査で「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思う」と回答した児童・生徒の割合(めざす方向性を「〃」、現状値を「73.6%(H30年度)」)に修正します。
45	4-3 社会教育 施策 成果指標	○社会教育の施策について、環境の充実といった側面が強く表現されているように感じるが、学びをまちづくりに生かしていくためにはもう一歩進んだ内容が必要ではないか。社会教育の観点から言えば、広く社会に貢献する人を増やしていくことが大切であると思うので、そのあたりをもう少し強く打ち出した方がよいのではないか。 ○施策(1)の成果指標に「図書館での市民1人当たり貸出冊数」があるが、少し残念な気がするので、他の指標を検討いただきたい。	原案どおり	○社会教育の施策について、学びをまちづくりに生かすことは社会教育における行政目的ですが、市民一人ひとりの学びは多様で基本的には個人の主体性に基づくものであり、多くの人は自分の楽しみや生きがいのために学んでいます。行政としては、より多様な学びの場を提供することが必要であり、こうした多様な学びの場から、地域や社会課題に向けた取組へとつながることが理想と考えています。公民館を中心に、身近な生活の中から学びを考える場づくりなど、具体的な事業の中で市民の学びをまちづくりに生かせるようなきっかけづくりを行っていきたくと考えています。 ○利用登録率や、入館者統計、行事の実施回数・参加者数等は妥当な指標と考えますが、「市民1人当たり貸出冊数」が最も一般的、普遍的であることから総合計画ではこれを指標とします。他の指標については、施策評価や同時に策定する教育振興基本計画に係る教育委員会事務執行等評価において、指標とすることを検討します。
46	4-3 社会教育 施策 成果指標	○施策(2)で、スポーツ推進委員の増加や資質の向上に関する内容を盛り込めないか。 ○スポーツを推進する市民のボランティア層もおられる。例えば、スポーツ功労賞受賞者数の増加などを成果指標にするのも良いのではないか。	原案どおり	○スポーツ推進委員の増加や資質の向上については、同時に策定する教育振興基本計画の取組む3つの施策のうち、「スポーツ組織の充実を図ります」の中で記述することとしています。○スポーツ功労賞受賞者数を成果指標とすることのご意見については、上記の「スポーツ組織の充実」における成果指標として、同時に策定する教育振興基本計画に係る教育委員会事務執行等評価において、指標とすることを検討します。
47	4-3 社会教育 成果指標	○施策(1)の成果指標、「公民館登録団体・グループ数」とあるが、近年は、1人ひとりや実行委員会のように一時的に集まり活動するグループが多い。今の指標では実際に学んでいる人の数が見えづらいのではないか。	原案どおり	社会教育とは、学校教育を除いた主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動であることから成果指標は原案どおりとします。なお、社会教育施設の公民館活動は、グループ登録による利用が基本ですが、実行委員会であっても要件を満たしている場合は登録が可能であり、その場合は活動指標に反映されます。また、一人ひとりの学習も生涯学習の観点からは推進すべきものと考えており、個人の施設利用については公共施設の有効活用という点から今後検討する必要があると考えています。
48	5-1 都市景観	○都市景観の内容が非常に少なく、寂しいと感じる。今は景観というよりも景観まちづくりにシフトしており、そのあたりが見えても良いのではないか。あるいは、めざまちの姿のところで、田園・農村景観、自然景観、文化を感じる街並み景観と3つあるので、施策でもこの3つの柱があると良いのではないか。景観についてもがらばって取り組んでいるまちなので、アピールしたほうが良いと思う。 ○住民が参加して、景観にかかる取組をしている地区もあるので、そういったことも現状と課題に盛り込んでどうか。 ○市として規制的な形で取り組むべきこと、市民との協働で潤いある景観をつくっていくことなど、少し提言の仕方を変えたら、いろいろ見えてくる部分があるのではないか。宝塚市景観計画の書きぶりを総合計画に少し持ってきてもらって、より充実して見えると思う。 ○農地や山林、公園緑地も景観を形成しており、それぞれの施策分野が景観の施策分野と重なってるところもある。都市景観が全体的なものであれば、次の総合計画では施策分野の項目立ても考えた方がよいのではないか。	一部反映	関連する分野別計画である「宝塚市景観計画」との整合性をより強化するために下記の通り修正します。 ○めざまちの姿 【修正前】 文化を感じる街並み景観が調和した宝塚らしい景観が保たれ、魅力を増している。 ↓ 【修正後】 文化を感じる街並み景観が調和した宝塚らしさを感じる景観が保たれ、魅力を増している。 ○現状と課題 【修正前】 「宝塚らしい景観」を創出し維持保全していくためには、宝塚市景観計画で定めた指針や方針、基準を守ることや、屋外広告物… ↓ 【修正後】 「宝塚らしさを感じる景観」を創出し維持保全していくためには、守る、育てる、つくるの取組を通じて、宝塚市景観計画で定めた指針や方針、基準に基づき指導・助言を行うことや、屋外広告物… ○施策 【修正前】 (1)宝塚市景観計画に基づく「宝塚らしい景観」の魅力の向上 ○景観に関する情報を発信し、市民意識の向上を図ります ○新たな土地利用において良好な景観を誘導します ○景観計画特定地区の指定により良好な景観の維持保全を推進します ○新たな制度設計やガイドラインについて検討します ○屋外広告物の規制・誘導を行い、違法掲出物の減少をめざします ↓ 【修正後】 (1)「宝塚らしさを感じる景観」の魅力の向上 ○住民主体のまちづくりや情報の発信により、市民意識の向上を図ります ○新たな土地利用において良好な景観の形成を誘導します ○自然や歴史・文化などにより培われた良好な景観の維持保全を推進します ○新たな制度設計やガイドラインについて検討します ○屋外広告物の規制・誘導を行い、違反広告物の減少をめざします
49	5-1 都市景観 施策	○施策(1)違法掲出物の減少をめざすとあるが、市民ボランティア活動員証では「違反広告物除去」と表示されている。言葉の整理が必要ではないか。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 施策(1)、「〇」5つ目、「〇」5つ目ねらいや主な取組 違法掲出物 ↓ 【修正後】 施策(1)、「〇」5つ目、「〇」5つ目ねらいや主な取組 違反広告物
50	5-2 緑化・公園 施策	○緑化の中の公園ということであると思うが、防災や最近よく言われるプレイスメイキングなど、公園の多様性や多機能をここで示した方がよいのではないか。 ○施策(1)、「〇」2つ目「多様な主体による管理運営を推進します」とあり、また、指標も市民団体などが管理する公園数となっており、従来型の公園施策に見えるので、利活用という言葉を組み込んでいただくとパンチが出てくると思う。 ○交通広場や別の位置付けにある広場の空間等の公共空間をどのように利活用するかという点が、施策分野の隙間に落ちていると思う。緑化・公園が一番近いと思うので一歩踏み込んで検討いただきたい。 ○公園が第1避難所みたいな役割を果たしている地域もある。危機管理・防災のところで、公園の使い方を論議してもらえればと思う。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 ○公園の特性に応じた多様な主体による管理運営を推進します ↓ 【修正後】 ○公園の特性に応じた多様な主体による管理運営や利活用を推進します また、駅前広場などの公共空間の利活用については、「土地利用」の施策(3)「〇既存都市施設を有効に活用し、まちの活性化を図ります」に位置付けることとし、ねらいや主な取組の内容も修正しています。 施策(3)、「〇」2つ目 【修正前】 面的整備事業によって設けた施設の老朽更新を図り、市民にとって利便性の高い施設を目指します。 ↓ 面的整備事業などによって設けた都市施設の老朽更新や活用を図り、市民にとって利便性の高い施設を目指します。

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容	
			区分	内容
51	5-2 緑化・公園 成果指標	○公園アドプトや地域緑化モデル地区指定に関する成果指標を立てているが、利活用等で関わる市民の層を広げ、活動を促していくためには、これら従来からある成果指標ではなく、新たな成果指標が必要ではないか。 ○東大阪市では、公園等を使ったイベント数をカウントすることにした。そうすれば、公園管理部門も積極的に市民に貸し出さないとイベントが増えないので、前向きに取り組むと思う。何か、利活用のカウントができるような指標が入ると良いのではないか。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 ・公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数 ↓ 【修正後】 ・公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数 ・公園で開催されるイベントの数(めざす方向性「↑」、現状値「200回」)
52	5-2 緑化・公園 成果指標	○施策(3)成果指標の緑地や里山・まち山の保全活動参加者数は、市有地で活動している参加者数だけか。 ○北部地域は県有地が多くなっており、その活動参加者数を把握せずに、指標を設定するのはいかにないか。 ○県から情報提供してもらい、県有地も組み込んだ成果指標とできないか検討いただきたい。	反映	意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 ・緑地や里山・まち山の保全活動参加者数 ↓ 【修正後】 ・緑地や里山・まち山の保全活動参加者数(県立公園含む)
53	5-3 環境保全	○環境基本計画と総合計画の柱の立て方が異なっており、担当課もやりづらいのではないかと、今後はそのあたりも検討しながら計画づくりをしていってほしい。	その他	環境基本計画の次回改定時期も含め、柱の立て方について対応を検討します。
54	5-3 環境保全 現状と課題	○現状と課題(1)で、目標達成が困難とあり、諦めている印象を受ける。課題はあるが状況を受けて取り組んでいく、というような書きぶりにした方が前向きな文章になるのではないか。	反映	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 省エネルギー化は進み、温室効果ガス*の排出量は減少しているものの、エネルギーの減少率は鈍化しています。また、再生可能エネルギーについては、その目標に対して現状値は低く、目標達成は困難な状況となっています。 ↓ 【修正後】 省エネルギー化は進み、温室効果ガス*の排出量は減少していますが、その減少率は鈍化しています。再生可能エネルギーは、本市独自の目標を掲げていますが、目標値に達していないため、再生可能エネルギーの導入を更に進めます。
55	5-3 環境保全 現状と課題	○現状と課題(2)、生物多様性の実態を把握するための基礎調査に多くの時間を要するとあるが、10年先を見据えた計画であるのに、このような記載をしても良いのか。	反映	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 市内の生物多様性の実態を把握するために基礎調査を実施していますが、多くの時間が必要となります。 ↓ 【修正後】 西谷地域をはじめ、豊かな生物多様性の実態を把握するために基礎調査の継続が必要です。
56	5-3 環境保全 施策	○環境省が提唱する「COOL CHOICE」という言葉を盛り込んでほしい。 ○宝塚らしさや宝塚の特徴を出した記述の方が、近隣自治体との違いを打ち出せ、アピール力がついてくるのではないか。	反映	ご意見を踏まえ、施策(1)〇1つ目について、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○エネルギー消費量の削減を進めます ↓ 【修正後】 ○「COOL CHOICE」等の取組を通じて、エネルギー消費量の削減を進めます
57	5-3 環境保全 施策	○めざすまちの姿に「人の営みと自然がつながっている」とあるが、対応する施策がないのではないか。	反映	ご意見を踏まえ、施策(2)〇2つ目について、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○生物多様性の保全意識の向上を図ります ↓ 【修正後】 ○人の営みと自然環境との調和をとりながら、生物多様性の保全意識の向上を図ります
58	5-3 環境保全 施策	○施策(2)、「〇」3つ目、特定外来生物の適正な駆除とあるが、例えばオオキンケイギクという特定外来生物の駆除にかかる具体的な取組や方針がないので、どこかできちんと示すことが必要である。 ○1つ1つの施策が個別に見えるため、ネットワークやつながりといった話を追加してほしい。 ○「協働の体制づくりなどを整え駆除を進める」というくらいの表現で記載できるのではないか。	反映	ご意見を踏まえ、施策(2)〇3つ目について、以下のとおり修正します。 【修正前】 ○特定外来生物に関する情報提供、適正な駆除を行います ↓ 【修正後】 ○特定外来生物に関する情報を提供するとともに、環境保全活動を通じて防除に努めます また、具体的な取組や方針については、今後対応を検討し、HP等で周知します
59	5-3 環境保全 施策	○田んぼと人のつながり、山と田んぼのつながりで維持されている生態系は非常に脆弱であり、それをどう守るかが最終的に生物多様性の保護につながると思う。そのあたりをどこかに盛り込んでほしい。 ○施策(4)に環境に配慮した暮らしづくりみたいなのが入れないか。 ○1つ1つの施策が個別に見えるため、ネットワークやつながりといった話が一文でもあれば印象が違うと思う。 ○協働という言葉も随所で欲しい気がする。 ○産業や観光と環境保全が繋がれば新しいストーリーも書けると思う。他部署や市民にアピールできるような書きぶりが1つでも2つでも補強できれば良い。	一部反映	NO.19で対応します。人の営みと自然環境との調和を取ることの重要性を知り、意識を変えていくことがまず一歩と考えます。 ○「協働」について、ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】 施策(1)、「〇」2つ目、「〇再生可能エネルギーの導入を推進します」 施策(2)、「(2)多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全」 ↓ 【修正後】 施策(1)、「〇」2つ目、「〇地域主体の太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を推進します」 施策(2)、「(2)関係団体等との連携による多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全」 ○産業や観光と環境保全のつながりについては、今後の施策展開における参考とさせていただきます。
60	5-3 環境保全 成果指標	○施策(2)の成果指標2つ目、アンケート結果の漠然とした指標ではなく、例えば、レッドデータブックのAランクの数を減らすなどの方が良いのではないか。	一部反映	施策(2)の成果指標2つ目の成果指標を「たからづかECO講座の生物多様性に関する講義の受講者数(累計)」、めざす方向性「↑」、現状値を「111人」に改めます。 レッドデータブックのAランクの数を成果指標とすることについては、ランクを決定する基礎調査が完了しておらず、今後も継続する必要があり、指標とすることが困難です。
61	5-4 循環型社会 施策	○循環型社会というと、例えば、医療とか食品、リサイクルショップなどごみ問題以外の問題もあるのではないか。「循環型社会」はもう少し意味合いが広く、言葉の重みがあると思う。「循環型社会」イコールごみと考えるのは現在の意味合いからすれば問題があるのではないか。 ○若い方は当たり前のよう、リサイクルショップなどを利用している。当たり前の行動の中で循環型社会に持っていきける仕組みや仕掛けがこれから必要ではないかという提案だと思ふ。 ○思い切って3Rから2Rにしてしまうことも考えられる。アップサイクルという言葉もある。宝塚らしい新たな仕組みづくりみたいなものでアピールできないか。 ○施策の方向性をさらっと書きすぎている。文章の加筆、文言を変えることで、見栄えも違ってくる。	反映	循環型社会は、天然資源を限りあるものとして使用を抑制し、ごみにせず資源に戻し循環させるとともに環境の負荷をできる限り低減させる社会を目指すものであり、アプローチの仕方や行動は様々であり、経済活動や市民生活にまでおよぶものであります。委員のご意見を踏まえ施策の各項目に具体的な内容を含めて加筆しました。 また、現状においても本市の状況をもう少しわかるように加筆修正しました。

No	該当箇所	審議会 意見	質問・意見に対する対応、考え方 又は 修正内容		
			区分	内容	
62	5-5 都市美化・環境衛生	施策	○施策(2)、ペットではない、アライグマやハチといった害獣・害虫駆除についても記載した方が良いのではないか。	原案どおり	ハチについては、施策(2) 2つ目の○で対応しています。 (「農業」における施策では「有害鳥獣による農作物被害の減少を図ります」と明記しており、主に「農作物被害防止」の観点からイノシシやシカに加えて、外来生物(アライグマやヌートリアなど)の駆除に向けた対策を行っています。)
63	5-5 都市美化・環境衛生	成果指標	○施策(1)成果指標、「宝塚を美しくする市民運動」参加者数は、自治会の加入率を上げない限り、参加人数は多くならない。参加者数ではなく、参加団体数としてはどうか。	反映	○施策(1)成果指標、「宝塚を美しくする市民運動」について、審議会からの意見を反映し、参加者数の把握できないため、参加団体数(現状値は「468団体」)に修正します。 それに伴い、現状と課題も一部修正します。
64	6-1 観光	施策	○市民自ら観光資源を掘り起こし、発信している人もいます。市民と一緒に発信していくという、何かそういう文章が含まれたら良いと思う。 ○情報発信していく上では、オーバーツーリズムにも気をつけたいといけない。地域の方のご理解や合意形成も必要となる。 ○コロナの影響で、今までと同じパターンの観光の組み立てができなくなる。新しい形を考えないといけない。	原案どおり	施策(1)に掲げる「地域資源の磨き上げと掘り起こし」は、様々な方々と協働で取り組んでいきます。特に、身近にある新しい資源の掘り起こしには、市民の皆さんのご協力が必要です。また、コロナ禍で、近隣の観光が見直されており、市内においても、地域の観光資源間の周遊性を高め、新しいコンテンツの開発が課題であり、それを積極的に情報発信に努めていく必要があると考えています。また、誘客に向けた取り組みを行う一方で、観光資源となる地域周辺の方々には、ご理解、ご協力をいただきながら進めていく必要があると考えています。
65	6-1 観光	施策	○観光客だけでなく、市民が楽しめる場づくり、環境整備の要素を入れてほしい。 ○マイクロツーリズムに近い考え。地域の方々が地域を巡って、お金を落とすという考え方を施策(3)で追加できないか。	原案どおり	施策(2)のうちに、観光資源の利用に向けた市民へのPRを掲げ、市民にもご参加いただける事業も展開していきます。 一方で、ターゲット層を明確にし、観光ビジネスを構築していくことで、観光消費額の拡大を目指していきます。
66	6-1 観光	施策	○観光資源の発掘、見直し、利用方法、ハードとソフトなど、そういったものをきちんと整理し直した上で、発信していく必要があると考えるが、そのあたりの方向性が示されていないと思う。 ○コンテンツの注釈があるがそのような説明になっていないので工夫してもらいたい。	一部反映	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 【修正前】(注釈) * コンテンツ 人間の創造的活動により生み出されるもののうち、教養または娯楽の範囲に属するものを表す。具体的には、小説、映画、テレビ番組、マンガ、アニメなど。 【修正後】(注釈) * コンテンツ オリジナルの著作物、知的生産物を表す。具体的には、テレビ番組、プログラム、小説、物語 施策の中にも掲げるように、インフラ整備、コンテンツ開発は、今後の新しい事業展開には、必要不可欠と考えています。
67	6-1 観光	成果指標	○観光入込客数について、カウントの仕方は色々あると思うが、コロナの影響等があるこの機会に、より実態に即した数字の把握について検討してもらいたい。	その他	観光入込客数の集計は、多くの事業所の協力により、算出しています。強制はできませんが、各事業には、実態に即した数値を報告いただけるようご協力をお願いしていきます。
68	6-2 商工業	施策	○商工業を活性化するためには、商業者を元気づけるだけでなく、消費者の意識も変えていかないといけないと思う。「消費生活」の施策分野において、そのあたりのことを盛り込みつつ、「商工業」の施策分野においても消費行動を促す施策と連携するというような内容を盛り込んでもらいたい。	原案どおり	「商工業」において、施策(地域内経済循環向上)と成果指標(市内商品販売額上昇)を掲げています。分野別計画においても「商工業振興計画」でご指摘のご意見の点などを盛り込んでいきたいと考えています。「消費生活」分野でもいただいたご意見(考え方)については、今後の参考とさせていただきます。
69	6-3 農業	現状と課題 成果指標	○現状と課題において、農家戸数が減少しているところとある一方、成果指標において、集落営農組織数を増やすとしているが、このあたりの関係や考え方について整理が必要ではないか。	原案どおり	農家数の減少(高齢化や人口減少社会)においても、農地や農業を持続させていく方向性から、集落営農をはじめとする地域農業の担い手確保を目指していくことについて記載しており、整合は図れているものと考えています。
70	6-3 農業	現状と課題 成果指標	○植木の農地の面積が減っている。これも一つの指標になるのではないか。また、植木産業は宝塚市の特徴なので、現状と課題で触れても良いのではないか。	原案どおり	花き・植木は、「農業」に含まれているなど、先般、お答えさせていただいたとおりです。但し、「農業振興計画」においては、本市の重要な産業のひとつである園芸(花き・植木)を、切り分けて明記する方向で議論を行なっています。併せて、植木農地の面積の点についていただいたご意見についても「農業振興計画」見直しの過程で今後の参考とさせていただきます。
71	6-3 農業	現状と課題	○現状と課題(3)の農地の有する多面的機能について説明を加えていただきたい。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 …食料の安定供給に農業が果たしている役割をはじめとして、農地の有する多面的機能や… ↓ 【修正後】 …食料の安定供給に農業が果たしている役割をはじめ、自然環境の保全や良好な景観形成など農地の有する多面的機能や…
72	6-3 農業	施策	○施策(1)、次世代の担い手を確保しますとあるが、世代継承のように見えるので、新しい人の参入、新しい担い手のような表現にしてもらう方が、国の施策の方向性ともあっているのではないか。	反映	ご意見を踏まえて、下記のとおり修正します。 【修正前】 ○次世代の担い手を確保します ↓ 【修正後】 ○新規就農者や集落営農組織など地域農業の担い手を確保します
73	6-4 雇用・労働環境	施策	○雇われるだけでなく、自分で仕事を作り出すというようなニュアンスをもう少し記載できないか。労働環境は誰かが整えてくれるのではなく、自分で整えていくという発想もこれから必要と思う。	原案どおり	ご意見については同様の考えを持っています。 なお、今回の総計では、商工業と雇用・労働環境は密接に関連していることを前提として、各論「商工業」の施策「新しい事業の創出」で掲げている部分で包含している考えです。
74	6-4 雇用・労働環境	施策	○最近、ワーク・ライフ・バランスは、ワーク・ライフ・インテグレーションという概念に進化している。10年後を見据えて、一歩踏み込んだ書きぶりにできないか。	原案どおり	今回の施策では、わかりやすさの点で一般的に利用されている「ワーク・ライフ・バランス」を使うこととしますが、いただいたご意見(考え方)については、今後の参考とさせていただきます。
75	6-4 雇用・労働環境	施策	○働いている場所が職場になるところも増えてくると思う。そうすると近くで買い物をする人も増え、2次的なものも生まれると思うので、是非そういうことも進めていただきたい。	その他	市内で経済循環が活発になるよう、今後も効果的な施策を検討し、様々な事業者と連携して取り組んでいきたいと考えています。
76	6-5 文化・国際交流	成果指標	○文化芸術センターの来場者数が新たな成果指標として加えられたが、既存の文化施設の来場者数も加えてもらいたい。 ○文化芸術センターは、最初から建物に入ってもらおうというだけではなく、抜け道として使ってもらい、いずれは建物に入ってもらおうというコンセプトがあったと思う。だから、歩いている人、公園に来た人もカウントする。そういう説明を丁寧に伝えていただくと説得力が増すと思う。	反映	意見を踏まえて、以下のとおり修正します。 【修正前】 施策(1)、「◆」1つ目 文化芸術センターの来場者数 施策(2)、(3)、「◆」1つ目 文化施設の利用率 ↓ 【修正後】 施策(1)、「◆」1つ目 文化芸術センター及び庭園の来場者数 施策(2)、(3)、「◆」1つ目 文化施設(ペガ・ホール、ソリオホール、宝塚文化創造館)の利用率